



准教授 長屋 郁子

専門分野

栄養教育
食育

学位・資格

修士(生活科学)
管理栄養士

研究者情報
(Research Map)



専門分野と社会との関わり

食を通じた子育て支援や健康づくりなど、生涯にわたる栄養教育・食育の研究を行っています。主に岐阜県内の地域と関わりながら、「地域特有の食文化継承」、「自然に健康になれる持続可能な食環境の整備」を中心に、地域の多様な場に応じた栄養教育・食育の推進を目指しています。

■ 地域特有の食文化継承

所属学会の研究チームの一員として、岐阜県の実地料理を継続的に聞き書き調査し、その成果を学会発表や、書籍・季刊誌にまとめています。また、調査内容を基に地域特有の行事食・伝統食を子どもたちへ伝え継ぐ活動を、地域と連携しながらすすめています。

■ 「自然に健康になれる持続可能な食環境整備」の取り組み

地域住民がより健康的な食生活を送るには、地域全体の食環境づくりが大切です。そこで、岐阜市保健所健康づくり課や地域企業との産官学連携で、ナッジ（人々の行動をそっと促す行動科学的手法）を用いた具体的な食環境整備に取り組んでいます。

■ 効果的な栄養教育方法の検討

第4次食育推進基本計画の重点項目の1つである「新たな日常やデジタル化に対応した食育の推進」として、災害等に備えた日常の食生活の大切さを伝える効果的な栄養教育方法を検討し、発信しています。

最近の活動紹介

教育活動／研究活動／地域貢献活動

地域のパティスリーとのコラボ商品開発「養老サイダープリン」

2022年度岐阜県養老町「養老町特産ブランド」の新商品開発事業に学生15名が参加しました。養老町が養老公園を拠点として観光消費拡大に向けた実証実験に取り組むYOROラボプロジェクト(事業受託：OKB大垣共立銀行)の一環であり、「食と絶景」を切り口に若者を中心とした集客力の向上を目指した新商品を考案しました。養老町の「パティスリー暦」とタッグを組み、何度も意見交換・試作を重ね、商品のおいしさはもちろん、パッケージデザイン、販売促進のアイデアなど、個々の意見やスキルを積極的に出し合い「養老サイダープリン」を完成させました。その後店頭販売が実現し、2023年8月には養老町特産ブランドの認証を受けました。学生達の想いが詰まったコラボ商品は、現在養老サービスエリア(上り)や養老駅観光インフォメーションなどでも販売拡大中。マスコミにも紹介される人気商品となっています。



↑ワークショップの様子(@ヨロフィス)



↑養老町特産ブランド認証第32号「養老サイダープリン」

授業紹介／ゼミ生による教員紹介

2025年度ゼミ生が、先生を紹介します!!

長屋ゼミは、地域の食育実践活動に取り組んでいます。地域の方々との出会いから学べる機会があり、充実しています。長屋先生はいつも明るく、優しく、私たちの話をちゃんと聞いてくれます。授業でわからないこと、他愛ない日常の会話、進路等何でも話やすく、相談した際には親身に寄り添って、的確なアドバイスをくださるので相談したいと思う先生です！ゼミでもまず「いいね」と私たちの考えを受け止めてからアドバイスしてくださるので、自分の意見に自信が持てるし、もっと頑張ろうと思えます！どんな時も、学生思いの素敵な先生です。ちなみに先生のチャームポイントはキレイな瞳の色なので、目を合わせてみてください(笑)

↑2025年度長屋ゼミ 産官学連携事業
キックオフミーティングの様子とオリジナルキャラクター